



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)戸塚区戸塚町複合商業施設計画	階数	地上2F,地下1F
建設地	横浜市戸塚区戸塚町字八ノ区1313番7外	構造	S造
用途地域	準住居地域・第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2017年7月25日
敷地面積	4,924 m ²	作成者	株式会社シーク設計
建築面積	3,396 m ²	確認日	2017年7月25日
延床面積	9,155 m ²	確認者	株式会社シーク設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 81%
③上記+②以外の 81%
④上記+ 81%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
省エネルギーや建物の使い易さに重点をおいて設計を行う。	
Q1 室内環境 室内換気に配慮し設計を行う。	Q2 サービス性能 店舗利用者の使い易さに配慮し設計を行う。
Q3 室外環境 (敷地内) 緑化率10%以上の緑化を実現。	
LR1 エネルギー 熱負荷制御に配慮し設計を行う。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材や有害物質を含まない材料を積極的に取り入れる設計を行う。
	LR3 敷地外環境 交通負荷の抑制に配慮した駐車場の設計を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



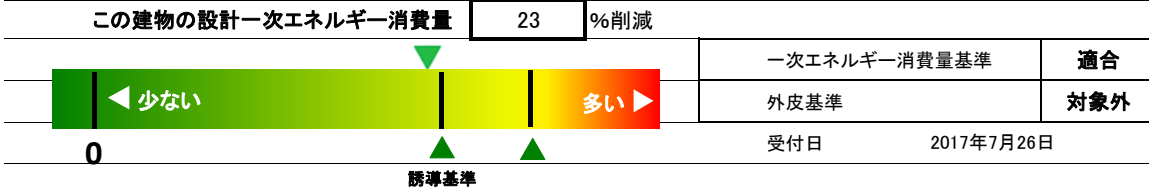
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)戸塚区戸塚町複合商業施設
設計画

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③[BEI][BEIm]= 0.77

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪内装材の下地・仕上共に全てF☆☆☆☆を使用する。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入